

第44回 全日本バレーボール小学生大会 都道府県大会開催規定

主催	後援	公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社 開催地公共団体／公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団／報知新聞社 (調整中)
協賛		デサントジャパン株式会社／ゼビオグループ／三井住友信託銀行株式会社/ 株式会社ピーアンドピー浜松
協力		株式会社プレナス
主管		都道府県バレーボール協会／都道府県小学生バレーボール連盟 第44回全日本バレーボール小学生大会都道府県大会実行委員会

1. 開催期間 令和6年5月1日(水)～令和6年6月30日(日)
2. 参加資格 (1) 令和6年4月2日に12歳未満の者で、同年、5月1日現在、国、公、私立の小学校および各種学校に在学していること。
(2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、令和6年4月1日以降、都道府県大会参加申込書締め切り日までに、公益財団法人日本バレーボール協会-MRSの登録を済ませていること。
なお、都道府県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
3. 競技規則 令和6年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
4. 競技方法 都道府県大会実行委員会で定めた方法による。
5. チーム編成 (1) 全ての大会(ブロック大会・地区大会)において、チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。
(2) 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できるが、選手については、ブロック大会・地区大会と同じでなければならない。選手は、病気やけがなど特別な事情がない限り交代はできない。ただし、ブロック大会・地区大会に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。(特別な交代、補充は同一団体に登録されている選手に限る。)
※都道府県最終予選に参加した選手は、交代することなくそのままのメンバーで全国大会に出場することになるので、チーム編成には十分注意をすること。ただし、補充については、(2)に準ずる。
(3) 監督は成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定準指導員及び公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)認定バレーボール(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
(ただし、本件は、公益財団法人日本スポーツ協会の制度改正及び日小連指導者資格要領改正の時限措置として、2025年度までは、旧・全国小学生バレーボール指導者1次・2次講習会受講者が最低1人はベンチに入ること、同様に扱うこととする。)又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
(4) 全国大会出場にあたっては公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)認定バレーボール(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
(5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。(MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要。)

監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。
ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。
Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。

(6) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。

(7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合時に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。

6. 審判員 公益財団法人 日本バレーボール協会並びに都道府県バレーボール協会公認審判員。
7. 使用球 公益財団法人 日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール
男子・混合 ミカサボール (V400W-L)
女子 モルテンボール (V4M5000—L)
8. 競技服装 (1) 選手の背番号は1～99とするが、1～12番が望ましい。
(2) ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見え易いものにする事。
(3) ユニフォームの胸部もしくは背部に JVA-MRS に届け出たチームネーム又はそれを特定できる略称を付けること。
(4) 混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームでも構わないが、男子・女子のいずれかがが識別用バンドを腕か足首に付けるか、またはソックスの色などでひと目で判別できるようにすること。
9. 表彰 都道府県大会実行委員会の決定に従って行う。
10. 実行委員会の設置 主管協会・主管小学生連盟は実行委員会を設置し、大会の企画・運営に当たる。
11. 開催要項の作成 都道府県大会実行委員会は、「都道府県大会開催要項」を都道府県大会開始2週間前までに下記大会事務局へ提出する。
12. 大会運営 都道府県大会実行委員会は、役割分担を明確にした上で役員を構成し、大会開催要項に基づき大会運営に当たる。
13. 大会の報告 都道府県大会実行委員会は7月5日(金)までに下記の事項について実行委員長名で報告書を作成し、全日本バレーボール小学生大会実行委員会に報告すること。
(送付先は下記の関係書類提出先へ)
(1) 都道府県大会報告書(参加チーム数、ブロック大会総参加チーム数)
(2) 全国大会推薦書(都道府県協会長・都道府県小学生連盟会長)
(3) 全国大会出場チームの都道府県大会(全国大会代表決定大会)参加申込書
(4) 大会期間中に起きた事故、その処理
※全国大会出場チームが決定したら(1)～(3)については直ちにメールで報告のこと。
14. 大会の補助金 各都道府県に大会補助金として50,000円交付される。
交付先は別途送付する用紙に記入の上、大会事務局へ送付のこと。

15. 都道府県実行委員会への配布物 プログラム表紙、表彰状（男子・女子・混合 3 位まで）
16. スポーツ傷害保険 スポーツ傷害保険には団体単位で必ず加入しておくこと。
17. 全国大会への参加チーム数 都道府県大会の結果、全国大会に出場するチームは都道府県バレーボール協会長が推薦する男子・女子・混合各 1 チームとする。北海道は南北に分けて、男子・女子・混合それぞれ 1 チームずつの計 6 チームとする。開催地(東京・神奈川・千葉)は男子・女子・混合各 1 チームを加える。
18. 全国大会への参加申込書 (1) 全国大会に参加するチームが用意する書類は次のとおりとする。
 ①全国大会参加申込書（必ず全項目を明確に記入すること）
 ②チームの集合写真（プログラムに使用、プラカード入りが望ましい）
 ③公益財団法人日本バレーボール協会-MRS チーム加入選手一覧（ブロック大会・地区大会参加時のもの）
 ④チームアンケート（主催報道機関より配布のもの）
 (2) 提出方法
 ①ホームページよりダウンロードし、加工しないで送信すること。（過去の他の申込書をコピー&ペーストしない）
 ②JPEG ファイル形式で（サイズは 1 メガ程度）送信すること。
 ③JVA-MRS 登録のサイトからダウンロードしたものそのままを送信すること。
 ④は主催報道機関へ FAX 又は郵送にて必ず送付のこと。
 ※①～③についてはプログラム作成上必須内容なので代表決定後速やかに送付すること。
 ※提出された名簿等は、本大会に関する目的以外は使用いたしません。
19. 全国大会参加申込 代表チームは決定後すみやかに申し込むこと。最終締め切りは令和 6 年 6 月 30 日(日)とする。
 ※代表決定が締め切り日より遅れる場合には都道府県大会事務局を通して大会事務局へ連絡すること。
20. その他 (1) 都道府県小連は、全国大会出場チームに対して都道府県代表としての心構え等を全国大会のガイダンスを参考にして必ず事前指導すること。
 (2) 各都道府県小連においては、緊急事態宣言等国や自治体より発令された対応を踏まえるとともに、各小連の感染対策を含めた危機管理マニュアルに沿い、それぞれの実情に応じて大会を実施・運営すること。

関係書類提出先

MAIL : 2024zenkoku@jeva-web.com

21. 問い合わせ 第 44 回 全日本バレーボール小学生大会 事務局
 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-8-3 志田ビル 3F
 TEL : 03-5738-5391 FAX : 03-5738-5392
 office@jeva-web.com

今年の大会テーマは

「ワクワク ドキドキ よしっ !!」

～ 誰もがワクワク、ドキドキする大会に ～